

## 平成 21 年度第 4 回図書館協議会要録

- 1 日 時 平成 21 年 11 月 5 日(木) 午後 2 時～4 時 20 分
- 2 会 場 中央図書館会議室
- 3 出席者 図書館協議会委員：12人 傍聴者：なし  
事務局：中央図書館長 館長補佐兼庶務係長 館長補佐兼調査係長  
サービス係長 資料係長 小川西町図書館長 計 6 人
- 4 配布資料 資料については、省略させていただきます。

### 5 議 事

#### (1) 報告事項

##### ① 図書館運営状況等について

- ・図書館行事等の報告と今後の予定について(資料No.1)

(これまでの報告)

- 10月 6日 ・子ども文庫講演会「子どもに本の楽しみを伝える」(10/13)
- 10月16日 ・教育委員訪問(花小金井図書館)
- 10月17日 ・ブックリサイクル(一般書・児童書)
- 10月20日 ・学校図書館ボランティア修理講習会
- 10月22日 ・学校図書館ボランティアスキルアップ講座
- 10月28日 ・小平市小学校教科等研究会図書館部会
- 10月29日 ・児童文学講演会「私の歩んできた道」
- 11月 5日 ・公民館市民講座

(今後の予定)

- 11月11日 ・一般ボランティア説明会
- 11月12日 ・大人のためのおはなし会
- 11月19日 ・学校図書館協力員研修会
- 11月21日 ・福祉講演会「障害児とともに育つおやじたち」  
・展示「『赤毛のアン』と村岡花子」
- 11月26日 ・児童文学講演会「絵本にえがかれた家族」
- 12月10日 ・児童文学講演会「『赤毛のアン』が生まれるまで」
- 1月 5日 ・ふるさとの新聞元旦号展
- 1月23日 ・ブックリサイクル(雑誌)
- 1月24日 ・子ども文庫講演会「ロシアの昔話」
- 1月28日 ・第5回図書館協議会

##### ② 平成20年度決算特別委員会について

3件の質問があった

- ・学校図書館の支援について(立花委員)
- ・図書資料の盗難、汚損、破損の状況と対策等について(宮寺委員)
- ・中央図書館のパソコンの電源利用について(西委員)

### ③ 教育委員の就任について(資料No.2)

10月1日付、委員長伊藤文代氏と委員長職務代理者吉田昌子氏が就任(再任)

#### <報告事項についての質疑・応答>

委員：11月11日に説明会のある一般ボランティアの応募状況等は。

事務局：中央館のボランティア募集で、12人で打ち切った。

委員：現在やっている人も含め、最終的には何人になるのか。

事務局：20人くらいになる予定。今回の募集は、図書の修理が中心で、行事のプレゼント作成や閉架での排架の仕事もある。

委員：12人で打ち切ったというがその後の問い合わせはあったのか。

事務局：打ち切った後での問い合わせもあったが、前回の募集に比べると少なかった。

委員：パソコンの電源利用のルール作りについて、具体的にどのような内容を検討しているのか。

事務局：1人当たりの利用時間や参考室の図書を利用する場合というような内容を考えている。

委員：中学校の学校図書館協力員の質問について、その効果を図書の貸出冊数の伸びで説明したが、それほど効果があるものなのか。

事務局：今までは、図書室が閉まっていることが多かった。常駐となり、まずは開けられるようになり、図書のお勧めや相談ができるようになり、利用されるようになってきた。

委員：職場体験で図書館に受け入れる生徒は、学校で図書委員になるような生徒なのか。

事務局：キャリア教育の一環で受け入れており、必ずしもそうではない。しかしながら、生徒が図書館を希望して来ている場合が多い。

### (2) 協議事項

第2次小平市子ども読書活動推進計画について(協議資料)

#### <協議>

事務局：今月中に教育委員会の素案として提示をし、庁議で説明をする。来月の定例市議会の生活文教委員会で説明をする。素案原案の協議については今回が最後となる。

会長：小平市子ども文庫連絡協議会と図書館協議会委員から提出された「小平市子ども読書活動推進計画素案原案について」をふまえて、意見をいただきたい。

事務局：子ども文庫連絡協議会からまず説明をいただきたい。

委員：全体の構成について、第1次計画の具体的取り組みについて検証していただけると、新旧の比較、状況の進展具合、成果などが分かりやすいのではないかと思う。

個別の部分については、学校図書館協力員・相談員の取り組みの具体的成果の記述を入れてほしい。読書推進体制の整備について、市民関係団体を含めたメンバーで定期的に会議を開催し、検討を進めるだけでなく、取り組みについて定期的にチェックし、評価して活用していく組織作りをしていただきたい。

委員：読んだ冊数などを数字として、経年変化を出していただきたい。小学校の学校図書館協力員の配置については、市長のマニフェストにもあるので、確実に実行するものとして表記して進めていただきたい。

委員：色々な関係機関を取り込むものを練り上げてほしい。

委員：平成15年のグラフには、数字があれば入れてほしい。

事務局：全体的な構成について変更は難しい。前回との対比は、盛り込むことが可能かどうか確認中である。表やグラフについては、検討したい。学校図書館は今回のポイントと考えているので、記述についても検討したい。小学校の図書館協力員については、前向きに

考えていきたい。市民を含んだ会議など予算の必要なものについては、表記が難しい。

委員：協力員によっていつでも図書室が開いているようにお願いしたい。

委員：保護者と読書という項目では、具体的な施策があればいい。

委員：計画の対象は、0歳から18歳までになっているが、データが中学生までで、高校生のものがない。

委員：ティーンズなど同年代からのお薦め本の発信などを考えてみてはどうか。

委員：高校生等を図書館側に取り込む方向でやっていくことはどうか。

委員：子ども読書の日を週間行事として、標語の募集でもしてみてもどうか。公民館まつりなどに図書館PRのコーナーを設けてはどうか。

委員：図書の時間に協力員が出向いたらどうか。また、児童館など他の施設と連携をする必要がある。

委員：1つずつに具体的な内容が盛り込まれると分かりやすいのではないかと思う。

委員：5年間の年次のタイムスケジュールはあるか。

事務局：5年間の中でやっていくということである。

委員：具体的な内容が明記されれば、その実行にあたっての具体的なスケジュールが考えられるようになり、いいのではないか。

事務局：今回の計画についても、実施のための計画ということで各章ごとに22年～26年までの項目の明記は可能であり、年度ごとに検証していく必要がある。

委員：グラフや数字の出し方については、作り慣れた人に見てもらう必要があると思う。また、すぐにやるということではないが、個人情報も消したうえで、本が利用された履歴をお薦め本を提示するためにデータとして収集し、分析し、検討するという含めれば、先進的事例になるのではないか。

委員：インターネットで、自動的にお薦め本が出てくるのは不愉快である。また、場合によっては、個人の情報を消しても履歴の利用は憶測を呼ぶことがあるが、それは避けたい。まずは、パスファインダーである。

委員：父親が参加し、子どもと一緒に読書できる環境ということを取り上げてはどうか。

委員：選書をどれくらいきちんとするか、選書についてこの計画に入れなくていいものか。

委員：学校図書館の選書と廃棄について、公共図書館との連携ということで盛り込むことはできないか。

事務局：相談員を配置して相談を受けているが、その点を加えたい。

委員：図書館資料の充実の中に魅力ある蔵書づくりとして選書方針、学校で揃えてほしいものの基本方針を作って公開していけば、それで判断ができたり、手がかりになったりするのではないか。本の廃棄も含め、魅力ある図書館づくりのことも入れてほしい。

委員：資料の充実の中で、選書について図書館と学校との連携に触れてもらいたい。

委員：言語機能の観点から、最近では思考力や判断力よりも情緒力を重視する傾向が強くなっている。家庭における読書活動の推進の部分で使われている言葉について、文章の整合性を保つためにも「想像力や判断力」または「情緒力と判断力」というような言葉の使い方を検討してみてもどうか。また、学校における読書活動の推進の部分で、言語活動の充実を図るための機能の高度化という表現があるが、意味が分からない。注釈を入れるなどして読者に分かりやすくしてほしい。

「子ども」と「子供」の表記について統一したほうがいいのではないか。

事務局：検討いたしたい。

子ども(子供)の表記については、法律の表記では「子ども」で、東京都の教育庁では昨年度から「子供」を使っている。そのため東京都の子供読書推進計画については、「子供」

をそのまま使い、小平市で作成するものについては、法律と同様に「子ども」を使っていく。

委員：私立の小・中・高校の扱いはどうするのか。

事務局：私立については難しい。市の施策を参考にさせていただく。

事務局：今後の流れは11月18日に庁議に報告をし、11月27日に教育委員会に報告をし、12月9日に生活文教委員会に素案を提出する。12月20日号の市報にパブリックコメントの募集記事を掲載する予定である。素案本文は、HPほかで見ていただく予定になっている。

会長：本日は、協議事項までとしその他は何かあるか。無いようなので、閉会とする。